

# 特集 『東日本大震災』

## 希望の松

東日本大震災に耐え、復興へのシンボルとして日本中の注目を集めていた岩手県陸前高田市の『奇跡の一本松』について、震災以来保存活動が続けてきた地元の『高田松原を守る会』が保護を事実上断念した、というニュースを読んだ。

日本百景にも数えられていた名勝『高田松原』が3月11日の大津波により消滅する中、唯一奇跡的に生き残り人々の心を支えた『希望の松』だった。

4月から10月に掛け、松の保護に向けて調査・対策を行ってきた財団法人日本緑化センターによると、当初から7月上旬頃までは新芽の伸びや球果の形成なども確認されており、希望を持って土壌改良を始め、防潮・日射対策の幹巻や、海水の侵入を防ぐ為に幹の周囲15m四方を深さ5mの矢板で囲み、排水と真水の給水を行い塩分濃度を下げるなど、あらゆる対策を講じて経過を観察してきたが、9月に入ると樹勢の衰弱が認められ始め、10月に調査したところでは、海水の影響でほとんどの根が腐っており、松を維持するのは極めて困難な状況であることが判明したという。それを受け、会では再生不可能として保護作業を打ち切ったとのことで、現在は立ち枯れるのを見守るしかない状況だという。

震災当初よりこの報道に接して以来、マツを県木とする群馬の造園業者としてことさら関心を持って見守ってきたので、とても残念な結果になってしまったが、わが国の樹木保護技術の粋を持ってしても救えなかったのであれば致し方ないのではと思うと同時に、関係者の救命に向けた献身的な努力に同業者として敬意を払いたいと思う。

そもそも今にして思えば、津波が全ての物を覆い尽くしあたり一面を瓦礫の焦土と化した中で屹立するその姿は、例えこのまま枯死してしまうとしても、震災に打ちひしがれた人々に立ち上がる希望と勇気を与えてくれた正に『奇跡の一本松』だったのであろう。幸いにも、この松より当初に採取した穂木の接木による後継樹が順調に育っているとのこと、震災地の復興と共にこち

らの新たな『希望の松』も期待を込めて見守っていきたい。

(増尾造園土木(株)・増尾 雅樹)

## 放射線と造園

これから東日本大震災の復興に貢献出来る業種、造園。

マスコミや政府の報道に信用度が薄く感じ初期の情報に修正や隠されたり操作されていることを感じます。特に放射線のコメントは不信な印象を感じさせる専門家も多かった。

我々造園屋がお客さんにいい加減なことを言っていると信用がなくなり仕事も無くなるはず。この非常時に日本国民に説明する情報が「この程度か！」って思います。専門家はどの分野でも同等の批判を受けるべきです。

私たち造園業はこれから役に立つ情報を元に批判の少ない専門家になるべきでしょう。

少し時間が経過し、事故の状況や被災地・被災者の映像を配信している情報は一般国民の生活には改善のない物と思えます、そこで個人的に受講した講習やCS放送で得た雑学の一部を紹介します。

### 1. 放射線の説明

身近な放射線、近年の生活は放射線と生活しています、食べ物・大気・医療などが代表的に思います。食べ物では特に日本人は乾物を多く食べ、その成分にあるのがカリウムで放射線を出しています。大気からは宇宙・原発事故・自然放射線など。医療はレントゲン撮影・CT検査が主です。特に医療被ばくは世界平均0.4 mSv工業国平均1.3 mSv日本の平均2.4mSvと日本人は医療被ばくトップクラスです。

そして造園業の放射線は、カリ肥料毎時0.11  $\mu$ Sv 御影石(花崗岩) 0.07  $\mu$ Svレンガ0.07  $\mu$ Svの放射線を検出します、日本は地図で見ると西日本は東日本に比べ地表放射線が多く花崗岩などの地質による差が主です。

造園屋は肥料や花崗岩を扱うので一般の方より自然放射線は身近になります。

### 2. 対策

放射線は医療に使われ悪いものだけ

ではありません、車のタイヤ9割は放射線処理済み、医療消耗品も放射線消毒済みなどがありあえて対策は不要なものやラジウム温泉はあえて利用が推奨されます。

主に対策すべきは福島原発事故に関するものが多いでしょう、できるだけ放射線の被ばくは0に近いのが理想とされています。放射線の遮蔽は $\alpha$ 線：ラジウム・ウラン・プルトニウムは紙、ビニールで可能、 $\beta$ 線：水素・カリウム・コバルト・ストロンチウム・ヨウ素・セシウムはアルミ板、数cmのプラスチックで可能、 $\gamma$ 線：カリウム・コバルト・ヨウ素・セシウム・ウランは鉛・鉄板で可能でこれらを通過する中性子線も水・コンクリートは通りません。

食べ物では内部被ばく抑制にカリウムを利用します、干しシイタケ・干し昆布・干しわかめなどを日頃から食べていけばあまり極端な心配は不要とされていて、セシウムとカリウムの体内タンクが10とすると日本人の成人はすでに9近くカリウムで満たされていてセシウムの入る所は少ないようです。自然放射線のカリウムで先にいっぱいにしておきましょう。欧米人の多くはほとんどカリウムを食していないのでセシウムの被害に敏感になる必要があります、この対策はカリウム錠剤でチェルノブイリでこの方法で対処しています。

### 3. 造園で除染

効果を数値で表すのは難しい方法ですが造園も除染します。芝を刈ります、放射線を吸収し、汚染された芝も育てて刈れば除染になります。生垣や植木の剪定を行い、剪定ゴミと庭の落ち葉を掃除しただけでも除染になるはずですが、「やっぱり造園作業は放射線量が多いかも！」散水などで湿り気を与えておくと放射線の遮蔽効果が期待出来ます。発生材が心配なら政府が指針を示し放射性廃棄物処理を行う地域もあるかもしれませんが一般的には庭のお手入れで除染も出来ると思っていただければ樹木の手入れの意識が変わると考えます。

(群馬庚申園(株)・山口 雄資)